



2025年3月期第1四半期 決算補足説明資料

2024年8月9日

フィード・ワン株式会社

東証プライム 証券コード:2060

事業環境①

1. 輸入原料の価格動向

畜産飼料原料の約50%をとうもろこしが、水産飼料原料の約40%を魚粉が占める

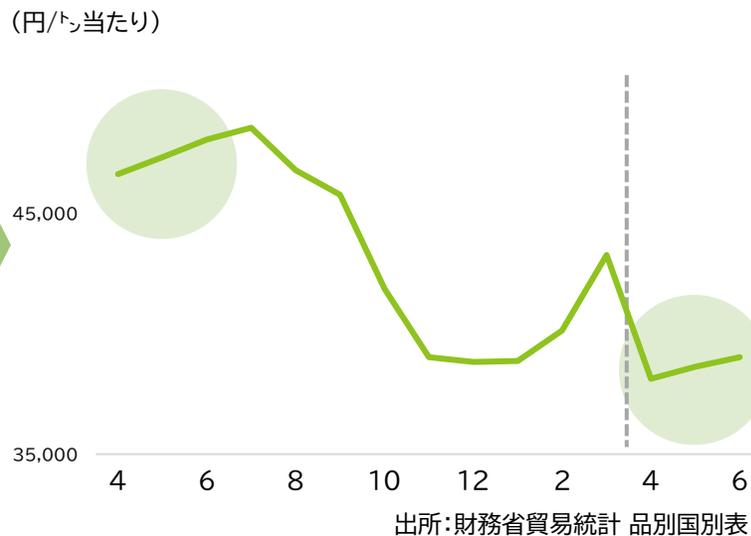
とうもろこしシカゴ相場と為替レート



為替レート: 前年同期比 13.5%円安

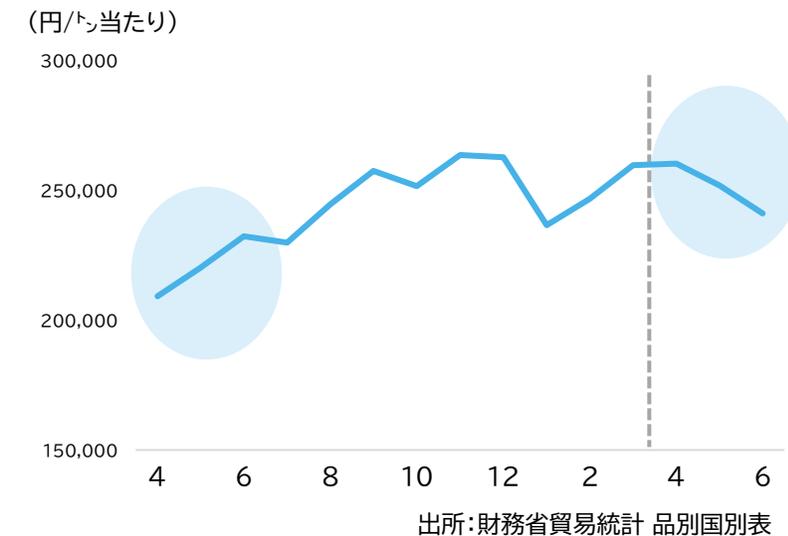
とうもろこしシカゴ相場: 前年同期比 28.9%低下

とうもろこしの輸入価格



とうもろこし輸入価格: 前年同期比18.6%低下

魚粉の輸入価格



魚粉輸入価格: 前年同期比 14.8%上昇

- 為替レートは日米金利差等により円安傾向、6月下旬は160円台/ドルを推移
- とうもろこしシカゴ相場は生産見通しが市場予測を上回り軟調に推移
- とうもろこし輸入価格は前年同期を大きく下回る

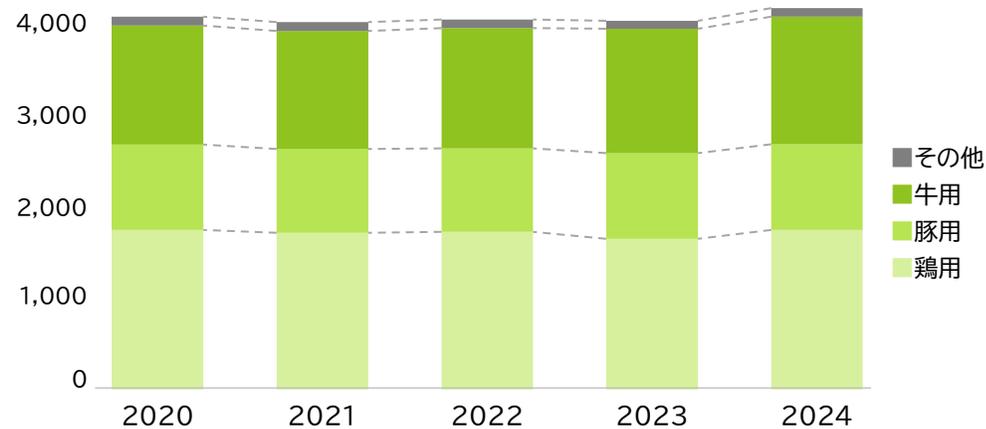
- 円安や前年の主産国ペルーでの不漁により、前年同期を大きく上回る
- 直近では中国の景気減速やペルーでの2024年第1期漁での漁獲回復もあり、軟調に推移

事業環境②

2. 畜産飼料流通量の動向

国内畜産飼料流通量(4-5月)

(千ト)



出所:農林水産省 飼料月報

畜産飼料流通量は前年同期比(4-5月) 3.4%増

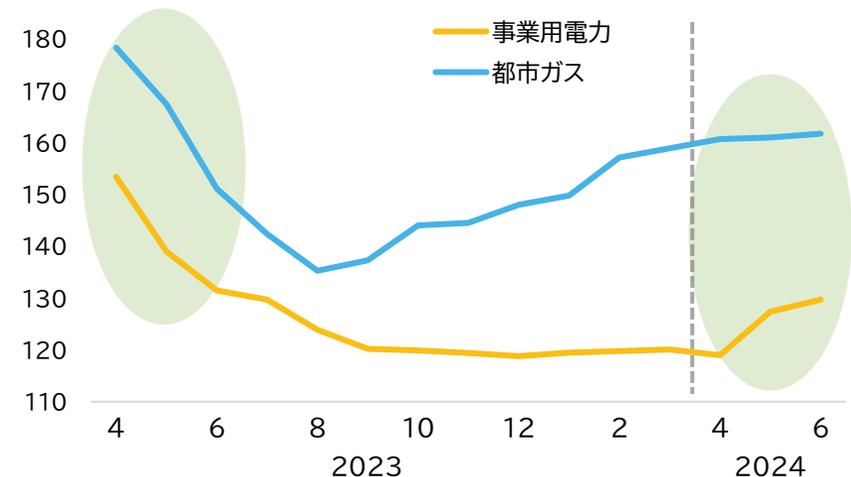
※6月分は未公表

- 採卵鶏用および肉用鶏ともに2022年10月より猛威を振るった鳥インフルエンザの発生農場の再稼働により回復

3. エネルギーコストの動向

電力・ガスの企業物価指数推移

(2020年平均=100、%)



出所:日本銀行 企業物価指数

事業用電力 : 前年同期比 11.3%低下

都市ガス : 前年同期比 2.7%低下

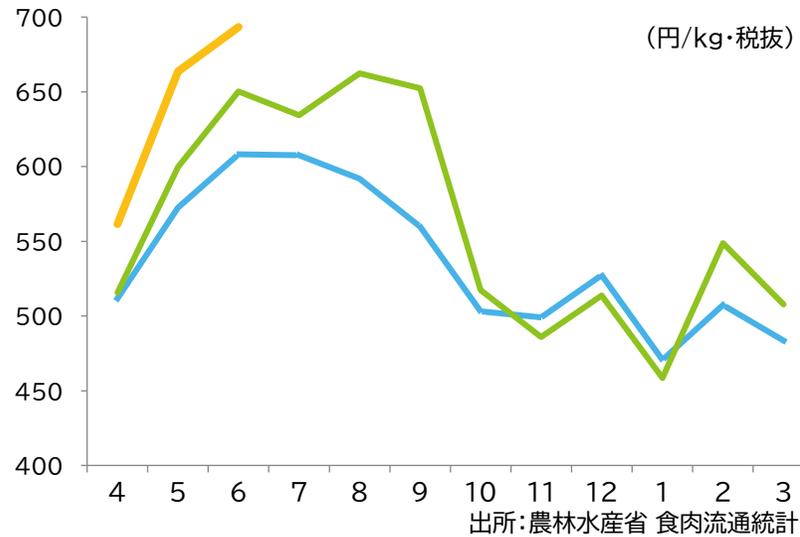
- 都市ガスはガザ情勢の影響や価格激変緩和対策事業の縮小もあり、昨年夏以降は上昇傾向
- 事業用電力は軟調に推移も、5月に再エネ賦課金が増加、6月には価格激変緩和対策事業の縮小があり直近で上昇傾向

事業環境③

4. 畜産物相場の動向

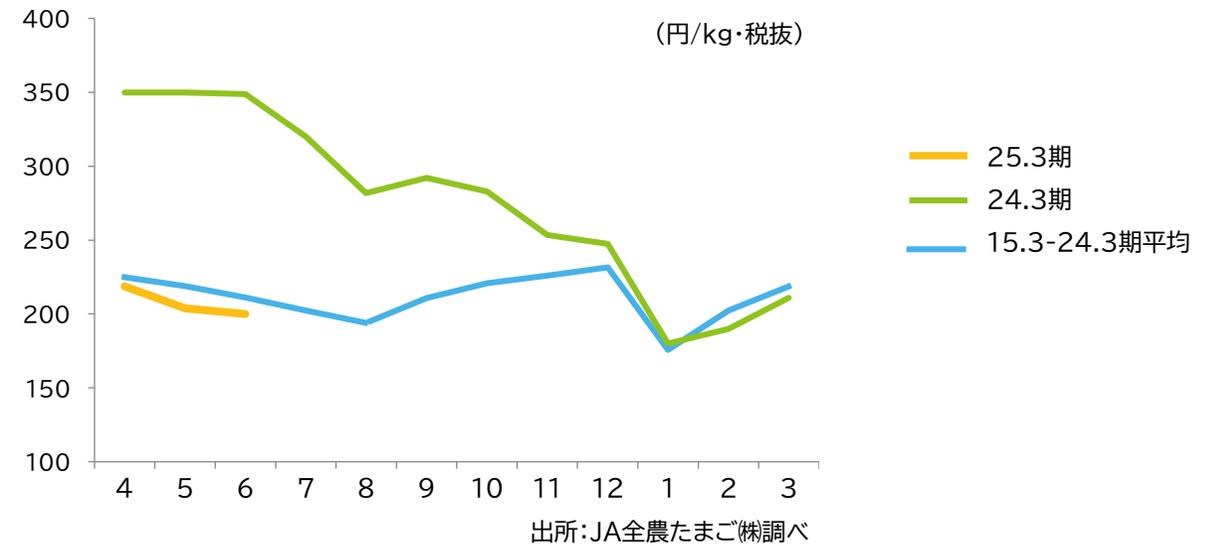
食品事業は豚肉と鶏卵販売が主力

豚枝肉卸売価格(3市場・上物)



豚枝肉卸売価格: 前年同期比 8.7% 上昇

鶏卵卸売価格(全農:東京M)



鶏卵卸売価格: 前年同期比 40.7% 低下

- 昨年夏の猛暑による種付け不良や家畜伝染病等により出荷頭数が減少し、前年同期を上回る

- 鳥インフルエンザ発生農場の再稼働により鶏卵生産量が増加も、需要の回復が進んでおらず、前年同期を大きく下回る

2025年3月期 第1四半期 決算概要

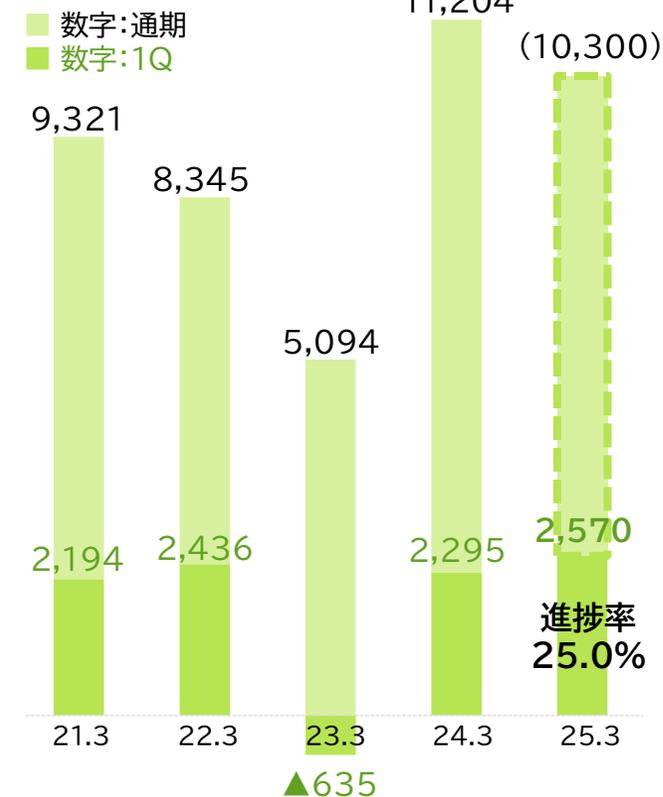
販売数量増加も畜産飼料の価格改定(販売価格低下)により減収
畜産飼料の原料価格低下等による売上原価の減少により増益

(百万円)

	2024.3期	2025.3期		通期業績 予想進捗率
	1Q	1Q	前年同期比	
売上高	79,782	74,288	▲6.9%	24.2%
売上原価	73,102	66,483	▲9.1%	—
売上総利益	6,679	7,804	+16.8%	24.5%
販管費	5,493	6,507	+18.5%	—
営業利益	1,186	1,297	+9.3%	21.3%
経常利益	1,456	1,623	+11.4%	25.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	921	1,304	+41.6%	29.0%
EBITDA	2,295	2,570	+12.0%	25.0%

EBITDA 推移

(百万円)



※EBITDA:経常利益+支払利息-受取利息+減価償却費及びのれん償却費

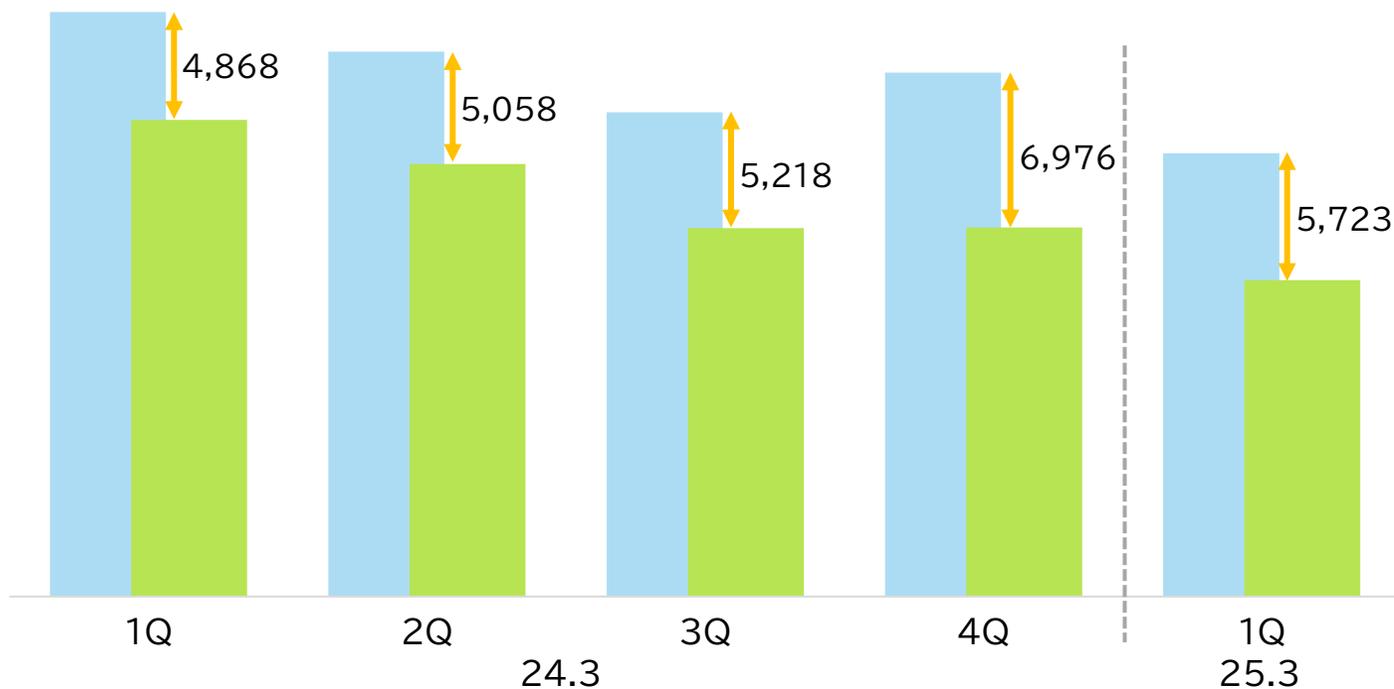
おいしさのみなもと

畜産飼料の販売価格・売上原価と売上総利益 推移

販売価格は前期第4四半期に6四半期ぶりに上昇も、当期第1四半期は再び低下
 売上総利益幅は、前年同期比17.8%増加

トン当たり販売価格と売上原価の推移

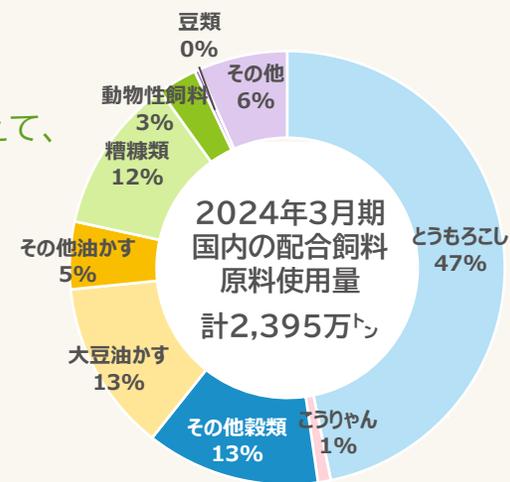
■ 販売価格 ■ 売上原価
 数字: 売上総利益幅(円/トン)



【参考】畜産飼料業界の解説 販売価格改定

▶ 販売価格は原料相場・
 為替・海上運賃を踏まえて、
 四半期毎に改定を行う

▶ 売上原価における原材
 料費率は約9割



出所: 農林水産省 飼料をめぐる情勢

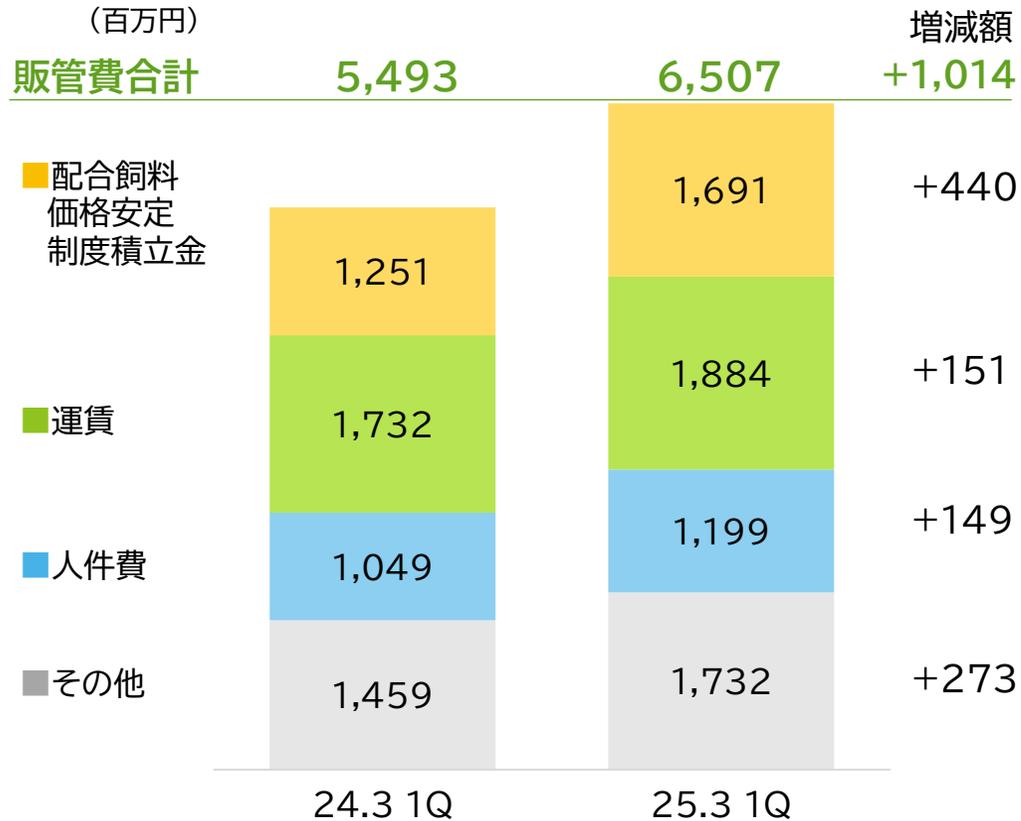
2025年3月期1Qにおける

当社畜産飼料販売数量は、

前年同期比で約2%増加しているが、原材料価格の低下に伴う販売価格の低下により、売上高は約7%低下している。このように、販売価格が原料相場の影響を大きく受けることから、飼料業界における「売上高」は事業の成長を測るものさしとはならない。

販管費

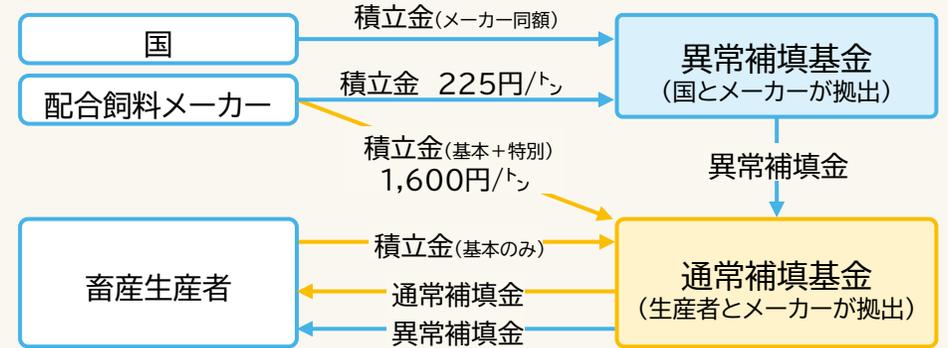
- 配合飼料価格安定制度の積立単価が大幅増加
- 運賃は数量増加や単価上昇により増加
- 人件費は給与水準の引き上げにより増加
- その他は新基幹システムによる減価償却費等が増加



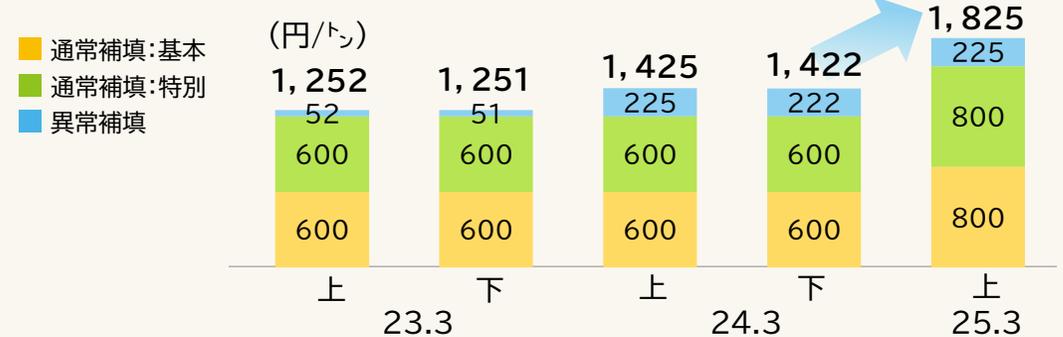
【参考】畜産飼料業界の解説 配合飼料価格安定制度

- ▶ 輸入原料の急激な価格上昇が畜産生産者の経営に及ぼす影響を緩和する制度
- ▶ 異常補填金発動で23.3期から異常補填積立金が発生。また同期に大幅な輸入原料価格の上昇により異常補填金が増加し、積立金の単価が増額
 - ・通常補填: 輸入原料価格が直前1か年の平均を超えた場合発動
 - ・異常補填: 輸入原料価格が直前1か年の平均から115%を超えた場合発動

制度の仕組み(金額:2025.3期上期)



積立金推移(配合飼料メーカー)



セグメント別業績

(百万円)

セグメント	2024.3期 1Q	2025.3期 1Q			
			増減額	前年同期比	
畜産飼料	売上高	63,274	58,592	▲4,681	▲7.4%
	セグメント利益	1,871	2,096	+224	+12.0%
	EBITDA	2,479	2,722	+242	+9.8%
水産飼料	売上高	5,951	6,709	+757	+12.7%
	セグメント利益	177	205	+28	+16.0%
	EBITDA	301	330	+28	+9.5%
食品	売上高	10,552	8,982	▲1,569	▲14.9%
	セグメント利益	▲28	73	+102	黒字転換
	EBITDA	13	113	+99	8.3倍
その他/調整額	売上高	2	3	+0	+26.1%
	セグメント利益	▲563	▲752	▲189	—

※今年度よりセグメントを変更 旧)飼料・食品・その他 → 新)畜産飼料・水産飼料・食品・その他

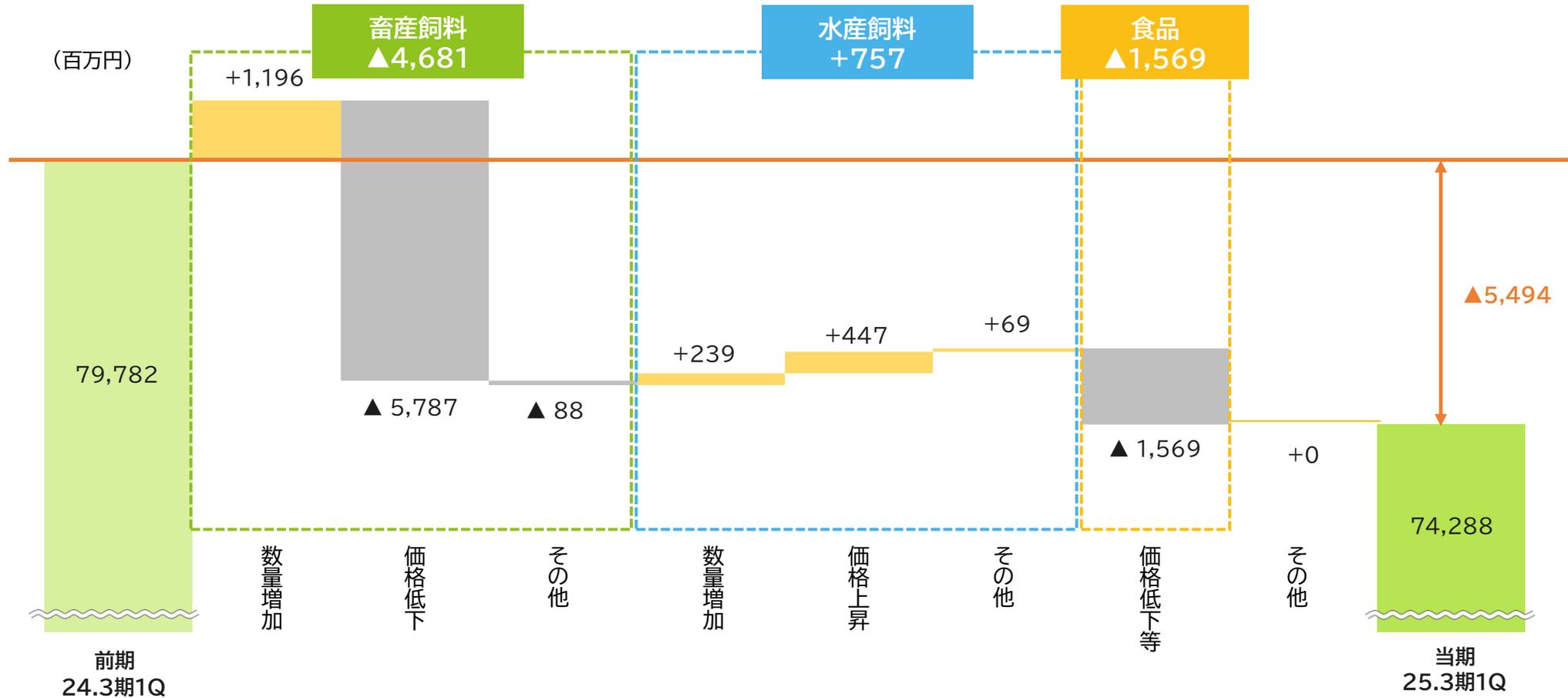
※売上高・EBITDA:セグメント売上高・セグメントEBITDA

※セグメント利益:経常利益ベース

※EBITDA:経常利益+支払利息-受取利息+減価償却費及びのれん償却費

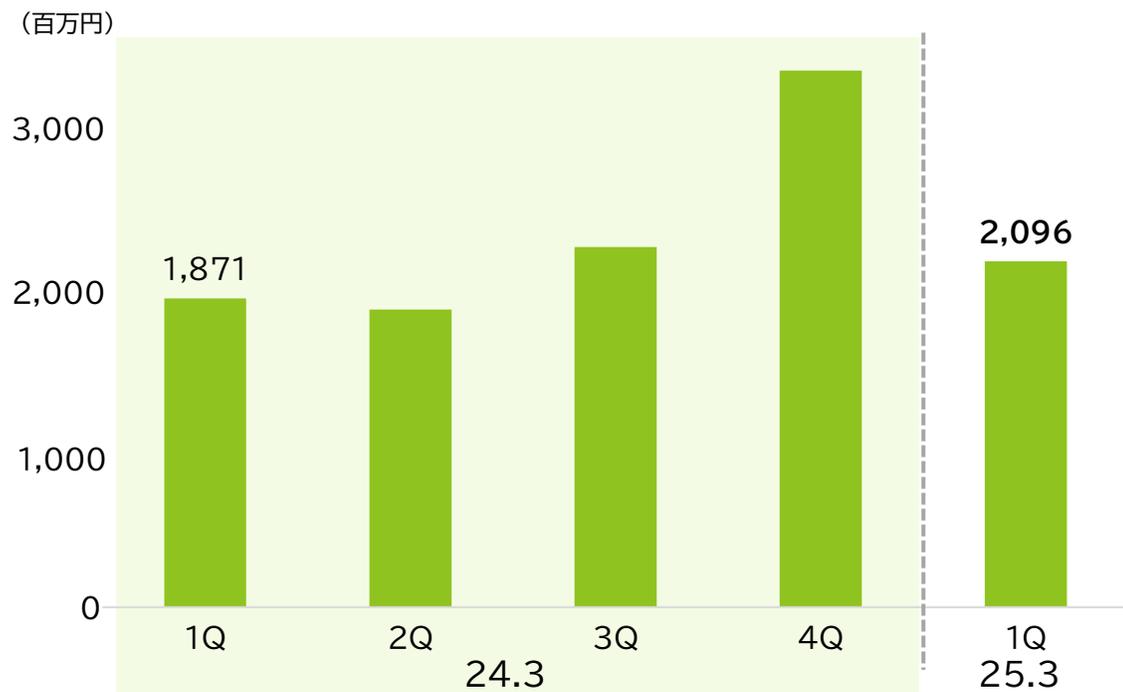
売上高 増減要因

畜産飼料の販売価格低下により売上高は大幅に減少



畜産飼料事業 四半期業績推移

セグメント利益 四半期推移



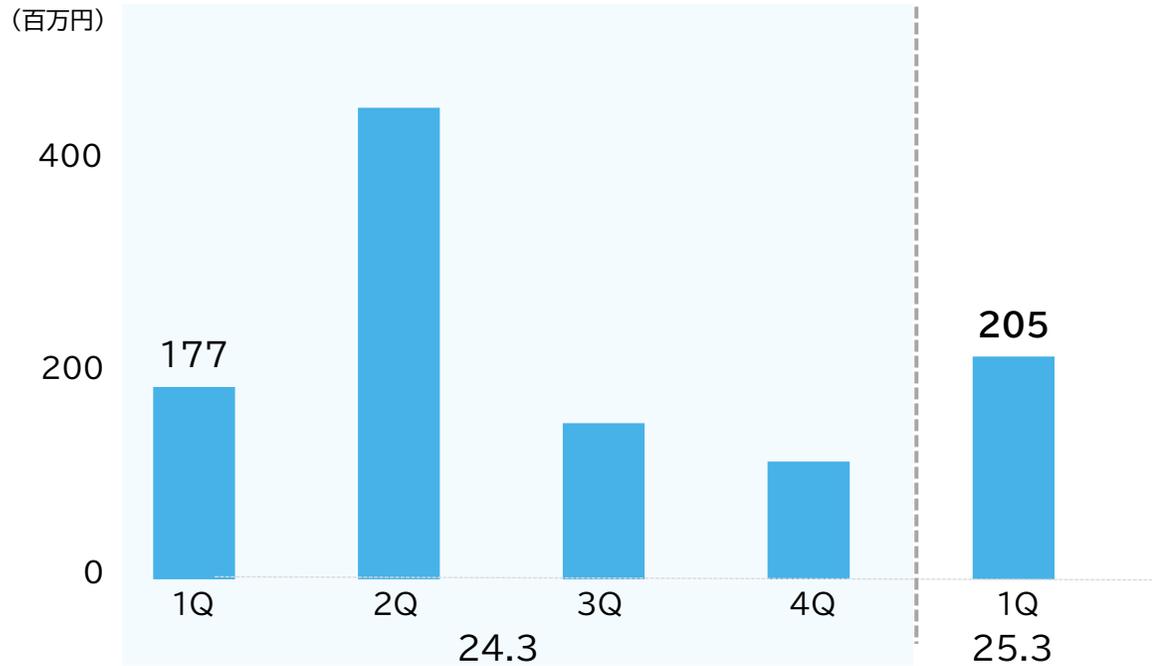
畜産飼料 販売数量 第1四半期 年別推移



- 有利原料の積極的活用や高利益製品の販売強化等により収益力が強化
- 家畜伝染病からの回復による飼育数の増加や生産者の経営に資するコンサルティング営業により販売数量が増加

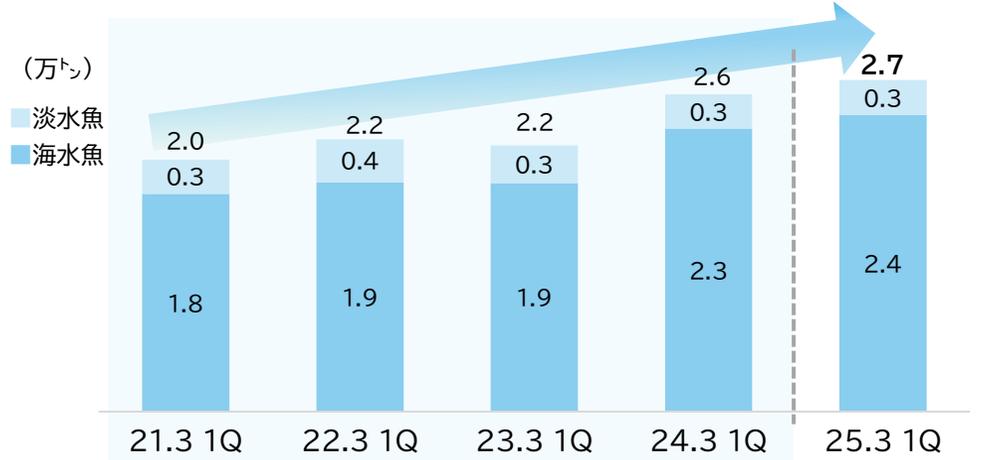
水産飼料事業 四半期業績推移

セグメント利益 四半期推移



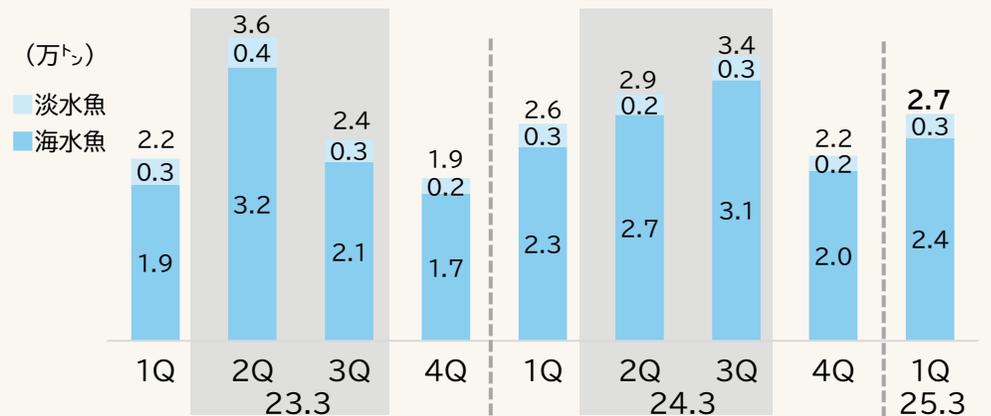
- 前期の価格改定(販売価格上昇)により売上総利益が適正化
- 昨年8月に発売したマダイ用 無魚粉飼料「サステナZERO」等の拡販により、販売数量が増加

水産飼料 販売数量 第1四半期 年別推移



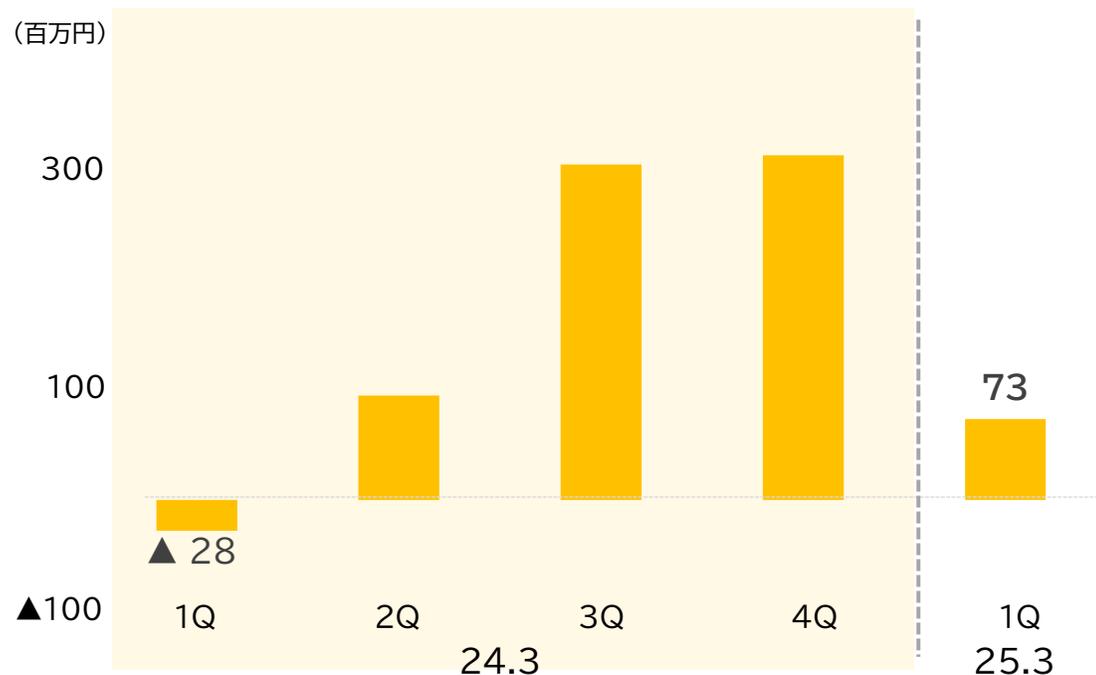
【参考】水産飼料業界の解説 販売数量推移

- 養殖魚は水温の変化により飼料摂取量が大きく変動する。水温が上昇する夏季にかけて飼料摂取量は増加し、冬季は減少する



食品事業 四半期業績推移

セグメント利益 四半期推移

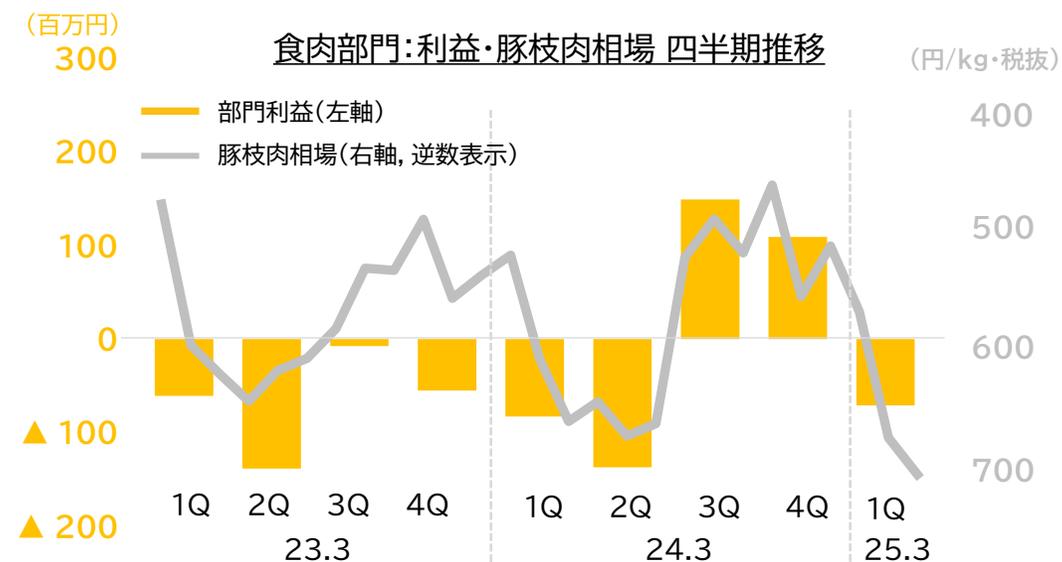


- 食品事業の収益は畜産物相場が大きく影響(参照:右グラフ)
- 販売条件の見直し等により、各部門の収益は改善も、豚枝肉相場の過去最大の高騰により、食肉部門の収益が悪化

鶏卵部門:利益・鶏卵相場 四半期推移

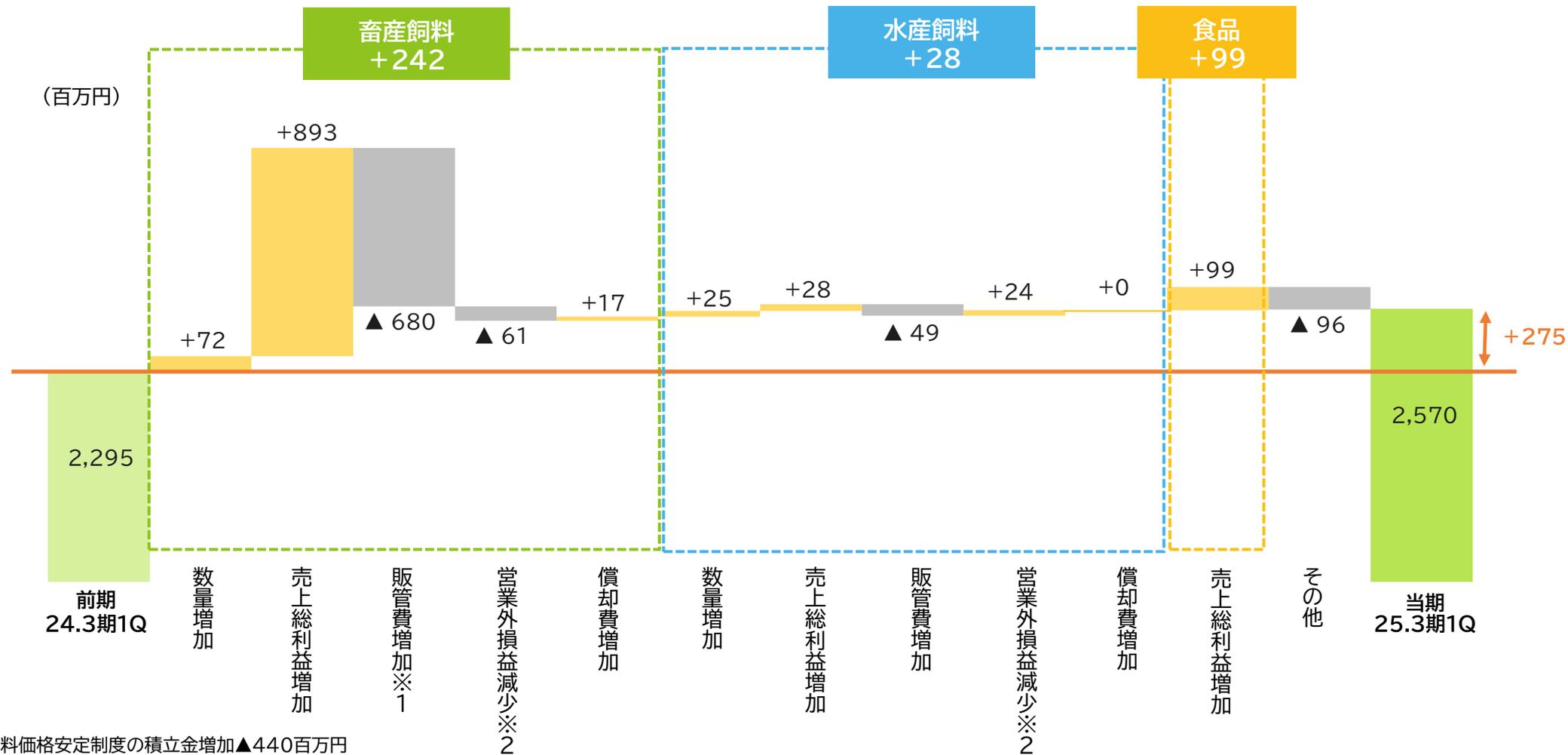


食肉部門:利益・豚枝肉相場 四半期推移



EBITDA 増減要因

畜産飼料で配合飼料価格安定制度の積立金増額により販管費が増加も、売上総利益増加によりEBITDAは増加



※1 配合飼料価格安定制度の積立金増加▲440百万円

※2 営業外損益は持分法損益を含む

※EBITDA: 経常利益+支払利息-受取利息+減価償却費及びのれん償却費

2025年3月期 第1四半期 連結財務状況

連結貸借対照表

(億円)

()内の数値は2024年3月末差

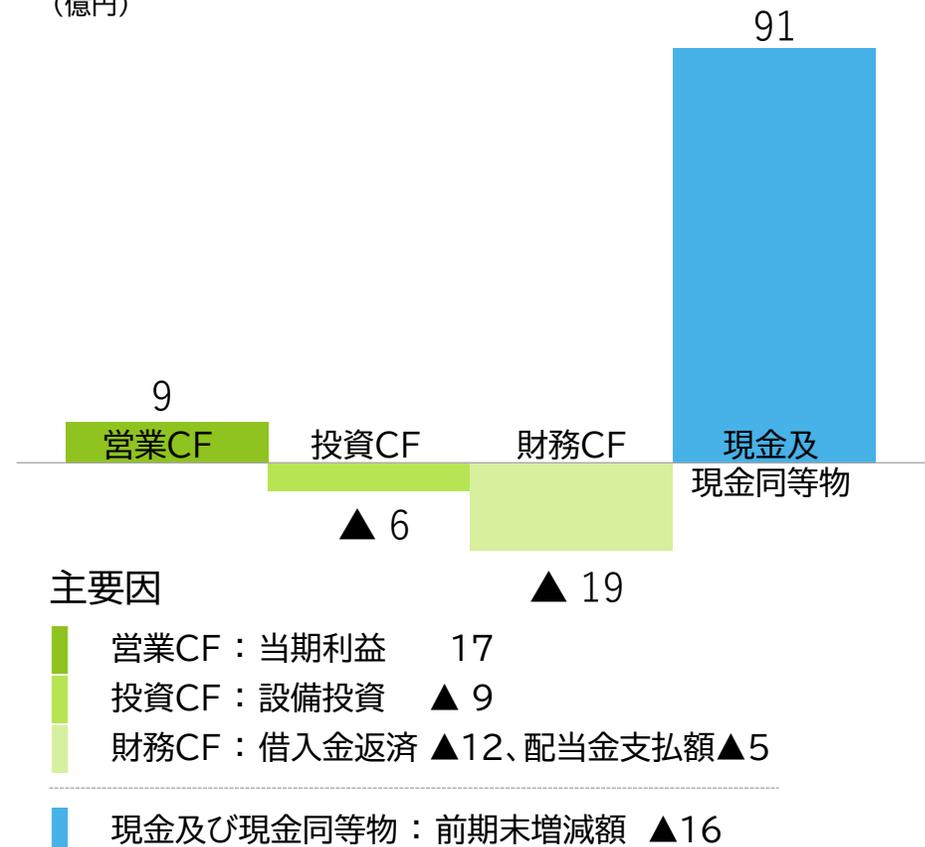
<p>流動資産</p> <p>868 (▲13)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>現金及び預金 92 (▲16)</p> <p>受取手形及び売掛金 562 (▲ 7)</p> <p>棚卸資産 182 (+ 9)</p> </div>	<p>流動負債</p> <p>533 (▲17)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>支払手形及び買掛金 348 (+ 4)</p> <p>短期借入金 97 (▲ 8)</p> <p>未払法人税等 5 (▲17)</p> </div>
<p>固定資産</p> <p>435(+ 6)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>有形固定資産 304(+ 2)</p> <p>投資その他の資産 114(+ 3)</p> </div>	<p>固定負債</p> <p>248 (▲ 2)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>長期借入金 207 (▲ 4)</p> </div>
<p>純資産</p> <p>521 (+13)</p>	

総資産 1,303 (▲6)

※2024年3月末及び2024年6月末は休日

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)



ご参考

連結BS:現金及び預金	9,262百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	▲69百万円
連結CF:現金及び現金同等物	9,193百万円

トピックス



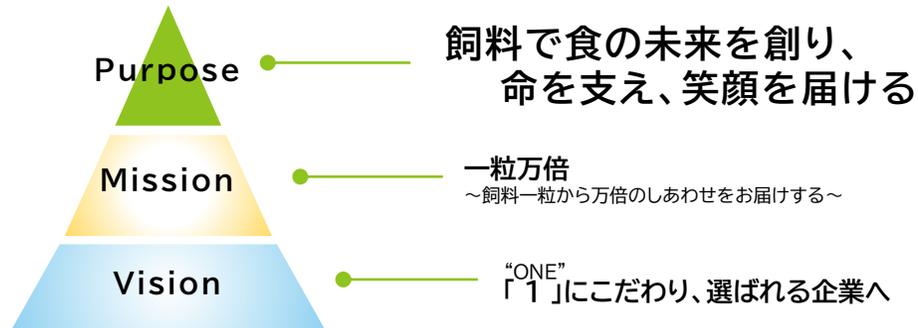
トピックス①

サステナビリティ

マテリアリティの見直し

- 2024年度より新たにパーパスを設置し、経営理念を刷新
- 次の10年に向け、新経営方針に紐づくマテリアリティの見直しを実施

新経営方針



新マテリアリティ

- 01 おいしさのみなもとからサプライチェーンを支える
- 02 人々の豊かな暮らしに貢献する
- 03 飼料を通じて環境と社会の調和を図る
- 04 食の未来を創る人材を育成する
- 05 社会から信頼される組織をつくる

研究開発

肉豚用薄脂対策飼料「ノリノリポーク」 IPPS AWARD2024受賞！



- 国内最大規模の養鶏・養豚産業展示会に出展
- 肉豚用薄脂対策飼料「ノリノリポーク」がIPPS AWARD2024を受賞

※「ノリノリポーク」とは
海外の多産系品種の子豚の高い増体を維持したまま、
背脂肪を蓄積させる新技術を実現した薄脂対策肉豚用飼料



ガバナンス強化①

監査等委員会設置会社への移行

- 取締役会の監督機能の強化と経営の意思決定の迅速化を図る

ガバナンス強化②

役員業績連動報酬見直し

- 資本効率指標(ROE、ROIC)や非財務指標(CO2削減、従業員エンゲージメント)を業績連動報酬の指標に設定
- 株式報酬比率を高め、企業価値向上への取り組みを強化する

ガバナンス強化③

新基幹システム運用開始

- 2024年4月より運用開始
- 新基幹システム構築への総投資額(10年間費用合計含む):約40億円
- 標準化・効率化により高度な業務推進を図る

トピックス②

健康経営

健康経営優良法人2024 (大規模法人部門)認定

- 社会の潮流に合わせ健康経営KPIを拡充
- 安全で働きやすい職場づくりの更なる推進に取り組む



働き方改革

「くるみん認定」取得

働き方の選択肢を増やす制度の導入

- 家庭と仕事の両立
- ライフイベントやライフスタイルの変化に対応



環境

北九州水産工場 北九州市「脱炭素先進企業」認定

- 北九州市が進める「再エネ100%北九州モデル」を活用し、同工場で使用する全ての電力に再生可能エネルギーを導入



社会貢献活動

明治大学体同連アメリカンフットボール部CityBoys
若者の体づくり支援(食品提供)

- 動物性タンパク質の摂取は体づくりに不可欠
- 将来を担う若者の体づくりをサポートすべく、フィード・ワンフーズ(株)の豚ばらねぎ間串を提供



明治大学体同連アメリカンフットボール部
CityBoysの皆さま



広報活動

駅看板掲出・動画広告配信

- 社名認知を第一ステップとして駅広告、動画広告の配信を実現
- 今後の段階的な施策の実施により企業認知度の向上を目指す

フィード・ワンの動画広告は
こちらよりご覧いただけます→



駅広告

企業情報

みなとみらいエリアへの本社移転

- 新社屋への移転に伴い、全部門を1フロアに集約
- 部門間コミュニケーションの円滑化に寄与

2025年3月期 IRカレンダー

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	● 通期決算発表			● 第1四半期決算発表			● 第2四半期決算発表			● 第3四半期決算発表		
		● 有価証券報告書					● 半期報告書					
	● 通期決算及び 中期経営計画 説明会	● 株主総会					● 決算説明会					
						● 中間配当 基準日					● 期末配当 基準日	
5/10	2024年3月期 通期決算発表			8/9	2025年3月期 第1四半期決算発表		11/8	2025年3月期 第2四半期決算発表		2/6	2025年3月期 第3四半期決算発表	
5/21	2024年3月期 通期決算及び 中期経営計画説明会						11/19	2025年3月期 第2四半期決算説明会				
6/21	第10期定時株主総会 2024年3月期 有価証券報告書											

本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
また、様々な要因の変化により実際の業績や結果とは異なる可能性があることをご承知おき下さい。



当資料に関するご質問・お問い合わせにつきましては、弊社のIR代表アドレス宛 (ir@feed-one.co.jp)にご連絡ください。